

CAPHAT EB-6

組立説明書



11/01/2008

Rev. 1.0

Written by: W4GTR and W6HIQ
Translated by: D.H.G Co., Ltd.

1. 概 論

EB-6 キャップハット(Capacitance Hat)は、静電容量をアンテナのシステムに効果的に加えるために用いられる製品です。

W6HIQ,VE7BOC, HA5CMG による製品は、チャーリージーンズ氏によってデザインされており、カリフォルニア州にある Hi-Q Antennas 社が製造した製品です。又、これらの製品は、消費者の方々によっても簡単に組み立てられる構造となっておりますので機械関係の知識があまり無いという方にも基本的な工具があれば直ぐに組み立てる事が出来ます。

EB-6 キャップハットはステンレス鋼 ロープワイヤー(Lobewire)、アルミニウム ハブ(Hub)、延長 ロッド(Rod)とステンレス製のネジ(Stud)によって構成されています。

全ての機器製品は、酸化などを防ぐためにステンレスで製造されており 又、全てのネジ類と異なる金属の隙間においても何らかの反酸化化合物によって被覆されています。

※ 組み立てる前 にこの説明書をよくお読みください ※

2. 部品の実例写真

2.1 キャップハット構成部品



※写真①

- ◆ハブ(Hub): 写真(上) x 2個
- ◆延長ロッド(Rod): 約 28cm 写真(手前から 2 番目) x 2本
- ◆ステンレス製ネジ(Stud):Φ約 1cm x 3.81cm (写真下) x 3個
- ◆ステンレス鋼ロープワイヤー(Lobewire):Φ約 0.2cm/ 約 71cm x 6本

2.2 必要な工具及び用意するもの

アレンキー(六角型)スパナ
ペンチ
酸化防止剤
布

3. キャップハットの組立説明

3.1 ハブ(Hub)の取付け方

- 1.) 少量の酸化防止剤をステンレスネジの半分くらいに塗る。
- 2.) 酸化防止剤を塗った部分を延長ロッドに差込み、しっかりと締める。
- 3.) 1.) と 2.) の手順でもう1つのステンレスネジを延長ロッドのもう1方に差込み、しっかりと締める。
- 4.) 露になっているステンレスネジの部分に酸化防止剤を塗り、1つのハブを手にとって差込んで締める。
- 5.) もう1方の露になっているステンレスネジにも 酸化防止剤を塗り、もう1つのハブも取付ける。

※この時にハブの向きが下の 写真② の様になっているかを確認する



※写真②



※写真③

- 6.) 最後に緩みがないかもう1度確認し、しっかりと締める。

※写真③ は EB-6 キャップハット用のハブ

3.2 延長ロッドの取付け方

- 1.) 3 ページの 3.1 で組立てたハブと延長ロッドを手に取り、少量の酸化防止剤をハブの側面の 1 つ、1 つの小さな 6 つの穴に塗る。
- 2.) ステンレスローブワイヤーをハブの側面にある穴に差込んで、底面(写真③)にあるねじ穴をアレンキー(六角型)スパナでしっかりと締め固定する。
- 3.) ゆっくりとステンレスローブワイヤーを弓状に曲げ、もう 1 方のハブの側面にある穴に差込んで 2.) と同様、底面(写真③)にあるねじ穴をアレンキー(六角型)スパナで締めて固定する。
- 4.) 残る 5 本のステンレスローブワイヤーも 同様に 2.) と 3.) のやり方で行う。



※写真④ ステンレス鋼ロッド(Φ 約 0.2cm x 約 71cm)



※仕上がりは下の写真⑤ の状態

※写真⑤ (EB-6)

3.3 完 成

※EB-6 キャップハットを取り付けは、アンテナのコイル部分よりも延長ロッド1本分程、高い所に取り付けた方がより効果的です。

- 1.) 3 ページの 3.1 のステップ 1.) と 2.) の要領で、残っているもう1本の延長ロッドに酸化防止剤が塗られたステンレスねじを差込み、しっかりと締める。
- 2.) もう半分のステンレスねじにも酸化防止剤を塗って、キャップハットを取り付けた延長ロッドとしっかりと繋ぎ合わせる。

※下の 写真⑥ の様になっていればキャップハットの完成

※参考写真⑥



※参考写真⑥は EB-8 ですが、現在では製造しておりません。

ご注意：

- キャップハットをアンテナに取り付ける際には、周りに注意を払ってください。
- アンテナを取り付けた部分からの全長が **4m 10cm** を絶対に超えないように気をつけてください。